（別紙4（2））

事業所名：グループホーム　あまね

作成日：　平成 28年　3月　28日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	運営推進会議は、利用者を含め民生委員、行政等が参加し2ヵ月毎に開催しているが家族の参加が得られていない。	運営推進会議に家族の参加協力を依頼し、参加しやすいように配慮する。	できるだけ家族が参加しやすいように持ち回りにしたり参加協力を依頼してみる。また、参加できない家族に対しても事業内容の報告や取り組みが把握しやすいように『あまね通信』等を活用し見える化を行う。	12ヶ月
2	4(3)	運営推進会議では、利用者の状況報告や活動報告、事故報告を行っている。事故報告に関して、口頭のみの報告になっており改善策の意見交換された内容に対しまとめが出来ていない。	ヒヤリハット報告を見える形で残し、意見交換の記録と報告を行うことで再発防止に努める。	各報告について状況が把握しやすいように口頭だけの説明ではなく記録を残す。会議に参加できない家族、関係者等に対しても報告内容が共有できるように閲覧スペースの確保や記録の整備、意見箱の活用なども検討する。	12ヶ月
3	4(3)	運営推進会議で得た助言や意見交換された内容についてまとめの整備が出来ていない。	運営推進会議で得た助言や意見交換された内容等について家族や関係者と情報の共有ができるように記録の整備を行う。	運営推進会議後は振り返りを行うことと速やかに議事録を残し、次回の改善策に繋げられるように進行者と記録者を配置する。また、いつでも情報の共有ができるよう閲覧ファイルを作成し活用する。	12ヶ月
4	(13)	消防署と連携し昼間を想定した消防総合訓練を実施したが地域住民の参加がなかった。	地域との協力体制を築き防災、災害時に備える。	昼夜を想定した消防避難訓練の実施に向け、行政や社会福祉協議会との連携に努める。また、地域の協力が得られるように日頃から民生委員、地域住民との意見交換会を開催したり関係づくりを行う。	12ヶ月
5	(13)	消防総合訓練を実施したがその後の記録の整備が出来ていない。	消防総合訓練を実施した後は、次回の改善策に向け話し合い、災害に対する意識を高め、入居者の安全を確保するための体制作りを行う。	消防総合訓練後は振り返りを行うことと速やかに議事録を残す。防災、災害時には迅速に対応できるように想定できるパターンを検討し自主訓練を企画、実施する。	12ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。